

学校だより

大津市立葛川小・中学校

平成27年2月号

活気に満ちた百人一首大会

3学期が始まってしばらくして、1月16日に百人一首大会が行われました。今年は、小中合同でやってみようということで、小学生・中学生それから教職員も全員参加して行いました。思い起こせば、2学期後半から小学3・4年生の教室から、百人一首の歌が聞こえ、白熱した声が隣の校長室に届いていました。さて、当日は、100枚「下の句」の札がランチルームのテーブルに並べられ、いざ開始!! 「上の句」の一部が読まれるや否や、そこそこで「はい!」と元気な声が上がります。読み手の中学校の先生もテンポよくどんどん先へ進みます。正月明けに日本文化を感じるひと時を過ごすことができました。続編として、小学校だけの大会も2月6日(金)に行われ、5色百人一首から黄色と水色の2色(40枚)が選ばれて、1対1の大战でトーナメント方式で行われました。低学年の児童も「十八番」の札は逃さないと思命に取り組んでいた光景が忘れられません。



「自然の家」でスキー教室

この日(1月23日)、「自然の家」のゲレンデは、入所者が無いということで、本校が貸し切りで使うことができました。しっかりと準備運動をした後、低学年と中・高学年の2つのグループに分かれ練習が始まりました。スキーを付けた直後は、少し違和感を感じるような動きの児童も見られましたが、指導者の先生の指示を素直に受け入れ、だんだん気持ちよさそうに滑る姿が目を引きました。ターンして止まったり、長い距離をこけずに滑ることができるようになりました。低学年も緩斜面を利用し、体の力を抜いて上手に滑り、楽しそうでした。後半では無邪気にソリに熱中していました。



毎日、おいしい給食 ありがとう!!

自校方式の給食をいただける本校では、温かいスープやおかず、そしてほかほかのご飯など、家の食事と変わらない条件のおいしい食事ができます。加えて、調理員さんの顔が見え、心のこもった味付けとさりげない声かけで、昼食の時間が一層アット・ホームになります。それゆえ残飯というものは皆無だと聞いています。給食週間にちなんで、児童から食後に感謝の気持ちを伝えることができました。また、調理員さんから、「食についてのお話」の時間をとっていただき、



バランスよく食
べることの大切
さとともに、「ご
ちそうさま」な
どの感謝の気持
ちを持つことの
大切さも教わり
ました。

ユニ・ホッケーに白熱!!

冬場は運動場が雪で覆われ、雪遊びには絶好の環境にありますが、体育の授業では運動量の多い「ユニ・ホッケー」を数年前から取り入れています。小学校、中学校単位ですることもあれば、小中合同ですることもあります。下の写真は小学校高学年と中学生が合同チームを

作って、試合をしているところです。各自が手にしているスティックと



ボールは共にプラスチックでできていて、とても軽く、扱いやすくなっています。たとえ、ボールが身体に当たってもさほど痛いというものではありません。ボールをスティックで打つときの力のこもった振りは真剣そのものです。走り込んだり、パスで相手にボールを渡したり、シュートに持って行くまでの流れは、なかなか見応えがあります。小さな体育館ですが、結構な運動量になります。下学年の児童にとって、先輩をお手本にして育つよい機会の一つだと思います。